

学校名 : 学校法人開新学園 熊本工業専門学校
 課程名・学科名 : 職業実践専門課程 自動車整備工学科・電気システム科・機械システム科
 資料名 : 学校関係者評価結果公表資料

平成29年度学校関係者評価結果

1 平成29年度 熊本工業専門学校 教育重点目標

建学の精神「創造・倫理・実践」を礎に、我が国、とりわけ郷土熊本の産業経済に貢献できる人間性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる創造性豊かな「中堅技術者」を養成するとともに、留学生に対して日本語教育を通し、広く国際貢献への橋渡しを行う。

また、留学生との交流を通し、国際的に活躍できる技術者となるための感性を磨かせる。

2 学校関係者評価委員会

日時 平成30年2月16日(金) 15:30～

会場 本校 日本語科教室

(1) 教育理念・目標 3. 3

<p>学校関係者評価委員会委員御意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部環境の変化に対応すべく目標の設定は永続的な課題であり、そのための積極的な情報収集が必要ではないか。 ・ 人口減や社会経済を踏まえた学校経営の将来構想が分からない。 ・ 理念・目標については、掲示物として、印刷物として、あるいは講話などで学生・保護への周知を図っていると聞いています。学生諸君が日頃の生活や学業のなかでそれをどのように意識しているか、訊ねてみる（作文して貰う）ことも必要ではないかと思います。 ・ 時代のニーズの先取りが、どの程度できるのか検討が必要 (例) 電気自動車、IoT、AIなど ・ 教育理念など変えてはならないものは守り、変えなければならないものは変える必要性を感じる。社会からの要求に沿った魅力ある教育が求められる。 ・ 理念・目標は素晴らしいので、学生等に対し、更なる周知を徹底して欲しい ・ 広報活動である学校案内パンフレットは年々改善され完成度が上がり、魅力的なものとなりこれから期待できる。 ・ 4で良いかと思いますが、エの部分が良く見えないものですから3としました
<p>回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本県専修学校各種学校連合会や全国専修学校各種学校総連合会の会議、高校訪問などから得られる情報を参考にしながら、中期振興計画に組み入れながら進めているところである。 ・ 平成26年度策定の五カ年計画「中期振興計画」を基に各部各科が設定した実施案を具現化している。また、実施案を基にPDCAを実施している。

(2) 学校運営 3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・ しっかりとした運営が推進されており今後期待もできるが直近の入学者の確保は喫緊の課題である。・ 入学者の確保・ 予算面においては厳しいと思われるがICTなどの積極的導入が求められる。・ まだまだ当校の知名度が低い。予算問題もあるが広報活動の充実を。・ ホームページの重要性はますます増しているのに年に複数回のチェック、更新が必要だと思います。今年度はそれが実行されていました。 ホームページにおける“学校紹介ムービー”は明るくて分かり易く、若者目線で制作されていると思います。・ 近年、IoT、ビックデータ、AI、ロボット、自動運転などのキーワードを目にしない日は極めて少ない。もはや時代の変革は待たないといえる。
回答	<ul style="list-style-type: none">・ あらゆる方策を模索し、入学者の確保に努めていきたい。・ ホームページの活用に関しては、多くの人が見て理解してもらえよう、またできる限り最新の情報をアップできるよう努力しているところである。今後も、継続していきたい。

(3) 教育活動 3. 6

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・ 各教員が自分の担当する教科の中で本学の理念・目標をどのように噛み砕いて学生に伝えているか、FD研修などで意見交換されると良いと思います。・ 積極的な取り組みにより年度を追うごとに各項目で改善されているのではないかと思う。このようにきめ細やかな対応は今後の学校経営に求められ、結果に繋がるものと思う。
回答	<ul style="list-style-type: none">・ 年度当初の教官会議において、本学の教育理念である「創造・倫理・実践」を踏まえた年間教育方針を担当教科において学生に話すよう伝えている。また、額に入れ教室に掲示し、いつでも目に触れるようにしている。・ FD研修の実施を検討したい。

(4) 学修成果 3. 2

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・ 就職率や資格取得率は高くとても評価されるが継続した広報活動は今以上に求められる。 留学生の退学率の低減は大きな課題であり継続した取り組みが望まれる。・ 留学生に対するカウンセラー等、生活のフォローは充分か？・ 地震による退学等影響はなかったか？・ ホームページでは、就職率など平成24年度となっており、平成28年度のデータが見えないので3としました
-----------------	---

回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職率や資格取得率については、学校の存続に関わる点でもあるので、担任、各科職員が一体となって取り組んでいるところである。 ・ 留学生に対する対応は、担任が親身になって行っている。時には、家庭訪問に行くなどして、生活面などのフォローも行っている。 ・ 地震による退学等はなく、安心したところである。 ・ 留学生の退学率の低減については、留学生の増加に伴い大きな課題として受け止めており、現在様々な面から支援できるような方策を考えているところである。
----	--

(5) 学生支援 3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会の組織化は進んでいるでしょうか ・ 就職支援においてはきめ細やかな対応にて成果も出ており評価できる。 ・ 可能な範囲で取り組んでおられるように感じています
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会の組織化については、現在のところ手つかずの状況であるが、次年度は実現に向け対応していきたい。

(6) 教育環境 3. 1

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生を巻き込んだ“防災訓練”や“キャンパス清掃”を実施していると思いますが、如何でしょうか。 ・ 機械設備、電子機器等が古くなっており如何に対応するか ・ 設備や教材が古く、魅力を感じない ・ 校内においての設備更新は避けて通れないが予算の問題は大きなハードルであると思われる。ただ外部との連携においての積極的な研修などの取り組みは大いに評価できる。 ・ 外部と連携した研修はとても効果的であり、継続した教育体制の充実が望まれる。 ・ 中庭の実習用中古車が今は放置状態に見えます。安全面、教育面で気になりますが ・ 熊本地震に遭遇し本校も被害を受けたと思われるが、防災体制の見直しが必要ではないかと思う。安心・安全を担保すべく対応など課題としてしっかりと検討して欲しい。 ・ 老朽化はしているものの良く整備されており、うまく活用されている。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ “防災訓練”や“キャンパス清掃”については、学生ともども実現することができ、次年度以降も是非継続していきたい。 ・ 施設設備の老朽化については、認識しているところではあるが、予算的に厳しい面がありなかなか実現できていないのが現実である。お話しいただいた点を踏まえ、施設設備更新のための予算獲得を継続して要求していきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中庭の実習用中古車については、廃棄を検討しているところである。 ・ 防災体制については、再度見直しを行っていききたい
--	---

(7) 学生の受入れ募集 3. 3

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な学生の募集は行われているものの、経済の状況や諸般の事情により厳しいと言わざるを得ない。 ・ 募集活動に対する成果があまり見えない ・ ホームページの「学校紹介」から“学校紹介ムービー”に辿り着きました。「受験生の方々」からも辿り着けるようにバナーを掲げては如何でしょうか。 “学校紹介ムービー”は明るくて分かり易いと思います。画面の文字を更新すれば複数年度にわたり使えると思います。 “学科のロゴマーク”について：細かいことですが、学校案内カタログと学校紹介ムービーで学科のロゴマークが異なっています。 ・ 継続した対策の検討を要する。 ・ 情報の発信方法の検討が必要か ・ 入学者の確保は簡単に解決できる課題ではなく大きなハードルである。だからこそ「魅力ある専門学校づくり」をキーワードに今以上の取り組みが望まれる ・ 特にありませんが、日本人の入学増対策、魅力ある実効性のある教育内容（分野・領域）はないものか（難しい問題ですが）
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化、高学歴化、東京五輪に伴う好景気と他県企業への人材流出などを反映し、入学者の確保が極めて困難な状況にある。職業実践専門課程への移行、専門実践教育訓練講座指定などの新しい取り組みを行い、そのことを本校PRの題材として、今以上に知名度を高めるよう努力しているところである。 ・ ホームページに関しては、御指摘に従い改善したところである。 ・ 情報の発信方法については、次年度再検討を行う予定である。

(8) 財務 3. 3

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設、設備の老朽化、 学生の確保 ・ 入学者の増加を目指すことが全て ・ 入学者数が低迷しているため財務基盤は適切とは言い難い。 ただし評価できるだけの資料に乏しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者の確保に向け、さらなる努力を行っていききたい。

(9) 法令等の遵守 3. 6

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・ この項目は総じて適切に推進されているものと推測できる。
回答	<ul style="list-style-type: none">・ 特になし

(10) 社会貢献・地域貢献 3. 2

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・ 校外での活動が情報発信されていないので地域貢献が目に見えない・ 学校周辺地域の住民に教育活動が十分伝わって来ていない気がします。私個人は関心を持っていますので良いのですが。・ ボランティア活動や地域貢献活動は学生を大人にします。出来るところからやるべきだと思います・ 学生ボランティアは心の豊かさを育む上でも、とても大切な社会貢献といえる。熊本地震で被災し積極的な取り組みは難しいと思われるが一方チャンスでもあると考える。
回答	<ul style="list-style-type: none">・ 地域貢献に関して、十分なPRが不足しているので、次年度は積極的な広報活動を行っていきたい。・ ボランティア活動については、本年度に引き続き実施していきたい。

(11) 国際交流 3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・ ベトナムからの留学生受入に大変熱心に取り組んでおられる・ 国際交流は積極的に推進された結果、受入れも近年増加傾向であり評価できる。しかし退学者も少なくないため課題が残る。・ 更なる発展を期待しています。
回答	<ul style="list-style-type: none">・ 留学生の増加の一方、退学者も少なくないため、サポート体制をしっかりと行い、減少に努めていきたい。

<御意見>

- ・ 高校、専門学校、大学に対し地場企業が良く知られていない実態があるので、まずは知っていただくことが重要である。企業見学会みたいなものが実践できればと考えている。インターンシップも重要であるが、それとは別に、良い活動をしている企業を学生たちに見せたいと考えている。
- ・ 留学生の確保および就職斡旋についてはどのようにしておられるか？
- ・ 大学等における学生の現状として発達障害者が増加傾向にあるが、戦力として考えることができる人材がいる。
- ・ ドイツにおける技術者育成システムは参考になる。
- ・ 自動車整備士不足への対策に対し、国は施策を行っている。
- ・ 知名度を地域の中で上げるために留学生との交流を図るべきである。

- 魅力ある学校作りを検討する場を設けることが要求事項ではないかと思われる。そのためには、企業連携とかを通して、その中から得られる情報を活かしていただきたいし、世の中がこのように変わっているということを先生方も勉強していただきたい。
- 設備は魅力を引き上げる一つ的手段と思う。
- 危機感を持つのは上層部だけではなく、一先生方も同じである。そのために、このような情報共有をすべく場を設け、先生方をうまくフォローしていくようなことが要求される。この数年を見て、かなり改善されているものの、今の時代に何が必要で何をしなければいけないかが、これからもっと考え、手を打っていかねばならないと率直に思っている。先生方の力を十分に引き出せるような学校経営をやっていくことが必要ではないかと思えます。
- 国家資格の取得に向けてのカリキュラム等の充実を
- 資格を取りたい、専門学校に行きたい、そんな生徒の手助けをするような対策や方法があれば少し変わってくるのかなと思っている。
- 目標をもって、それに向かうというのは非常に良いことで、現時的には良くやっておられる。